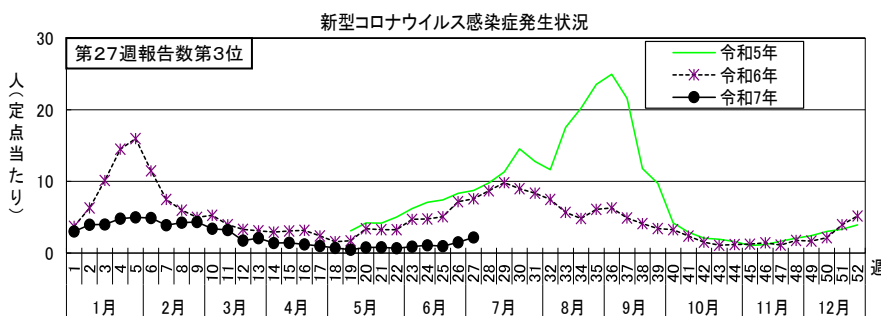
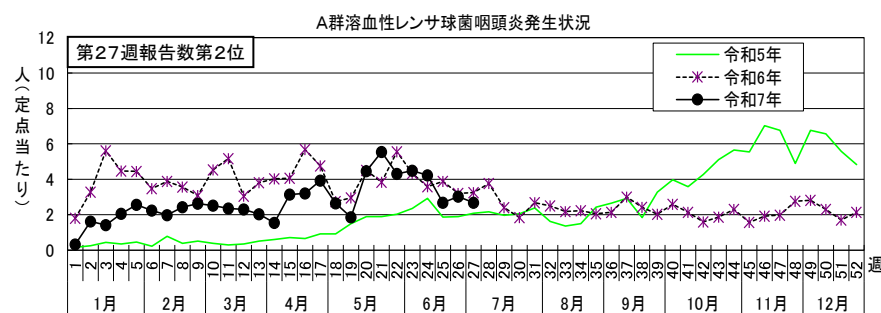
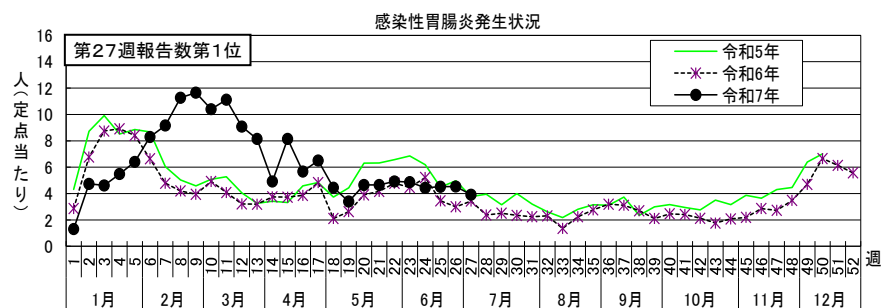


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年6月30日（月）～令和7年7月6日（日）〔令和7年第27週〕の感染症発生状況

第27週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.92人と前週（4.54人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.68人と前週（3.03人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.20人と前週（1.49人）から増加しました。

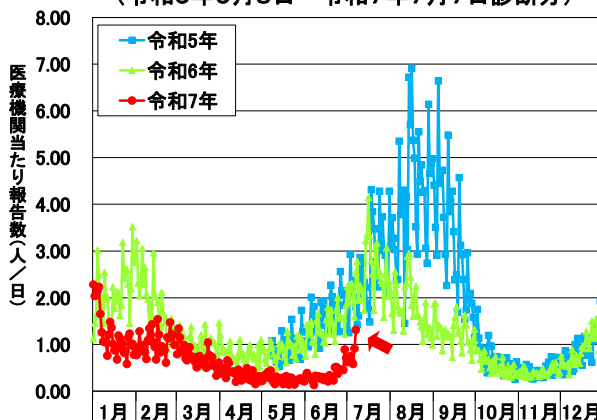


新型コロナウイルス感染症～報告数が徐々に増加しています！～

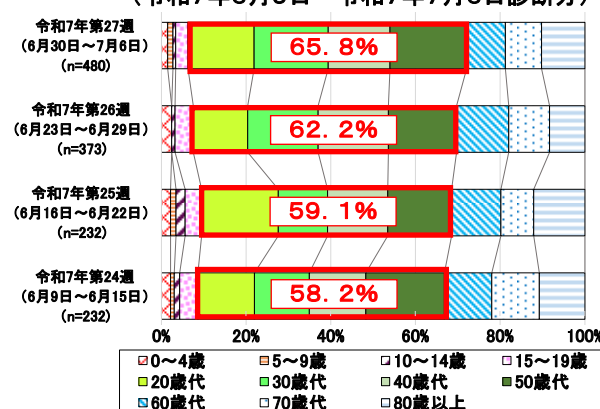
川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和7年6月下旬以降徐々に増加しており、第27週（6月30日～7月6日）には定点当たり2.20人となりました。また、本市のリアルタイムサーベイランスにおいても、20歳代から50歳代を中心に報告数が増加しています。

新型コロナウイルス感染症は、定点把握疾患となった令和5年以降、夏季に報告数が急増し、7月から8月にピークを迎える傾向がみられています。流行時には手洗い等の基本的な感染対策を実施し、咳等の呼吸器症状がみられる場合は、感染を広げないために咳エチケットを心がけましょう。

リアルタイムサーベイランスにおける
 新型コロナウイルス感染症の医療機関当たり報告数推移
 （令和5年5月8日～令和7年7月7日診断分）



リアルタイムサーベイランスにおける
 新型コロナウイルス感染症の年齢階級別報告数
 （令和7年6月9日～令和7年7月6日診断分）



令和7年7月8日10時時点の川崎市感染症情報システム（KIDSS）データより作成